

2023年11月21日

各 位

会 社 名 三井海洋開発株式会社
代表者名 代表取締役社長 金森 健
(コード番号 6269 東証プライム市場)
問合せ先 経営企画部 (TEL. 03-5290-1240)

海洋プラットフォーム向け検査ドローンの開発に関する覚書をテラドローンと締結

三井海洋開発株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:金森健)と Terra Drone 株式会社(本社:東京都渋谷区、代表:徳重徹、以下「テラドローン」)は、代表的な海洋プラットフォームである FPSO (Floating Production, Storage and Offloading system:浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備)向けの検査ドローンの技術開発に関する覚書を11月7日に締結しました。



海洋プラットフォームと検査ドローンのイメージ

当社がオペレーションを行う FPSO は、20 年を超える長期間にわたり安定した原油・ガス生産を継続するために、日常的な保守点検・検査により、その健全性を担保しています。しかし、構造物の高所や閉鎖空間における人力での検査作業は、労働安全環境上の懸念事項であり、大規模な海洋プラットフォームにおける検査の長期化と共に、業界全体の共通課題となっています。

そこで、当社が有する FPSO の設計・操業に関する様々な知見と、テラドローンが有する特許取得済みの自社製 Terra UT Drone(非破壊検査向けの超音波探傷機能を搭載したドローン)を用いた検査技術の開発・サービス提供の実績のシナジーにより、海洋石油・ガス業界全体の共通課題の解決を目指すこととしました。今後、検査作業における安全性の向上・省人化・効率化を実現するドローン技術の実用化を通じ、両社は環境、経済、社会的な観点からサステナブルな海洋プラットフォームの操業に貢献してまいります。



Terra Drone 株式会社について

「Unlock “X” Dimensions (異なる次元を融合し、豊かな未来を創造する)」というミッションを掲げ、2016年に創業、東京に本社を置き、国内外の11か国において、自社開発製の特許取得済みである測量用・点検用ドローンを石油ガス・化学・建設業界などへ提供しています。ドローンを用いた非破壊検査作業に関して世界各国での豊富な実績と高い研究開発力を有しています。また、世界8か国で既に導入済みの運航管理(UTM)を展開。空飛ぶクルマやドローンの開発及びソリューションを提供するドローンサービスプロバイダーです。<http://www.terra-drone.net>

三井海洋開発株式会社について

FPSOをはじめとする海洋石油・ガス開発プロジェクトに用いられる浮体式海洋石油ガス・生産設備のEPCI (Engineering, Procurement, Construction and Installation: 設計から機器購入、建造、据付までの一括工事)、リース、及びオペレーション&メンテナンス(運転・保守点検)サービスを一貫して提供する日本で唯一の企業です。リーディングカンパニーとして、業界全体が抱える課題に取り組むべく、次世代の検査技術を探求しています。<https://www.modec.com/jp>